

Remote Access Connection Agent(RACA:新リモートアクセス)

RACA はスマートフォンやタブレット、WindowsPC、Mac のブラウザから簡単に BizBoxServer「OS Pro」に接続することができるアプリです。スマートフォン、タブレット、PC に専用のアプリをインストールすることなく chrome や safari といったブラウザで BizBoxServer「OS Pro」に簡単にアクセスしてファイルのアップロードやダウンロードをすることができます。

～特徴～

- このアプリを使用するのに、特別なユーザー登録やアプリのインストールは必要ありません。
- ブラウザだけで簡単にファイルの操作することができます。
- ファイルの共有を共有リンクや QR コードで簡単に行うことができます。
- どのフォルダーにアクセスできるか、読み書きができるかなどは全て BizBoxServer「OS Pro」の ACL 設定に従います。
- このアプリでの操作は、BizBoxServer「OS Pro」のアクセスログに記録されます。
- 最大 5 ユーザーまで同時に接続することができます。
- 1つのユーザーで 2 台の異なる端末から同時にアクセスすることができます。

～注意点～

- ブラウザでアクセスする URL は、本体交換やシステムフェイルオーバー後、リモートアクセス用 URL 再発行ボタンを押した際は変更となり、変更前の URL は使えなくなります。

対応端末と OS(2022.1 末時点)

端末	Windows PC	Mac	iPhone/iPad	Android 端末
OS	Windows11/10	macOS 11 Big Sur 以降 (intel/AppleM1)	iOS14 以上 /iPadOS14 以上	AndroidOS10 以上

推奨ブラウザ

- Google Chrome
- Microsoft Edge
- Safari

※基本的にはブラウザが動作する環境であればご利用頂けますが、動作確認は上記対応端末と推奨ブラウザの組み合わせで行っております。

※ファイルのアップロード・ダウンロードは、回線の状態及び利用端末の性能により時間を要する場合があります。

失敗した場合、再実行することで読み込むことが可能になる場合があります。

※本機への接続の最大接続数は、5 ユーザー、それぞれ 2 セッション、最大 10 セッションとなります。

※1 クライアント端末が安定して利用するにはおおよそ 3Mbps の帯域を必要とします。

※1 つのフォルダーに大量のファイルがある場合、表示に時間がかかります。快適にご利用いただく目安として、1 フォルダ内のファイル数は 1,000 以下を推奨いたします。

利用の流れ

1. 管理者は RACA を利用させたいユーザーを Web 管理インターフェースで作成します。（すでに作成済みの場合は不要です。）
詳細は第 4 章システム管理 – アクセス権 – ローカルアカウントの項をご覧ください。
2. 管理者は Web 管理インターフェースのアプリセンターから RACA の機能を有効にし、リモートアクセス用の URL/QR コードを発行します。
詳細は「RACA の設定」の項をご覧ください。
3. 管理者は 2. で発行したリモートアクセス用の URL/QR コードを RACA を利用したいユーザーに周知します。
4. RACA を利用したいユーザーは 3. で周知された URL/QR コードにブラウザでアクセスします。
詳細は「RACA の使い方」の項をご覧ください。

RACA の設定

Web 管理インターフェースのアプリセンター内にインストールされている RACA_NAS_APP のアイコンをクリックし、「アプリページに入る」を押下するとブラウザのページ（タブ）が新しく開きます。セキュリティ警告が出ますので「詳細設定」から「x.x.x.x にアクセスする（安全ではありません）」を押下してアプリページに進んでください。



RACA_NAS_APP

ユーザーにこのモジュールの使用を許可する。
 デスクトップへのショートカットの表
 示

[アプリページに入る](#)

選択



この接続ではプライバシーが保護されません

192.168.10.110 では、悪意のあるユーザーによって、パスワード、メッセージ、クレジットカードなどの情報が盗まれる可能性があります。[詳細](#)

NET:ERR_CERT_AUTHORITY_INVALID

[詳細情報を表示しない](#) [セキュリティで保護されたページに戻る](#)

このサーバーが 192.168.10.110 であることを確認できませんでした。このサーバーのセキュリティ証明書は、ご使用のパソコンのオペレーティングシステムによって信頼されているものではありません。原因としては、不適切な設定や、悪意のあるユーザーによる接続妨害が考えられます。

[192.168.10.110 にアクセスする（安全ではありません）](#)

リモートアクセス機能

リモートアクセス機能を有効にする

ファイル転送最大容量設定

50 MB (1~50,000 MB)

ログイン3回失敗で30分間のアクセス拒否機能を有効にする

リモートアクセス用URL [再発行](#)

RACA の設定画面が開き上記画像の設定画面が表示されます。

「リモートアクセス機能を有効にする」のチェックボックスにチェックを入れると、リモートアクセス機能が有効となり、リモートアクセス用 URL と QR コードが表示されます。

この URL は RACA で BizBoxServer「OS Pro」にアクセスするために必要な URL となります。

管理者はこの URL/QR コードをリモートアクセスを利用するユーザーに共有します。ユーザーは①この URL/QR コード、②ローカルアカウントのユーザー名、③ローカルアカウントのパスワードでアクセスすることが出来ます。

アップロード/ダウンロードファイルは 1 M～50,000MB(50GB)のサイズ制限をかけることが出来ます。

制限を超える容量のファイルはアップロード/ダウンロードできません。（下記画像はダウンロードの例です。）



RACA Service チェック項目	
項目	説明
リモートアクセス機能を有効にする	RACA を使用して、リモートアクセスをする場合、チェックボックスをオンにします。
再発行ボタン	新規にまたは再度 URL を発行します。 ※既に URL を発行している場合に「再発行」ボタンを押すと URL が変更されるため、利用しているユーザーに URL を再度周知する必要があります。
リモートアクセス用 URL	リモートアクセスするときに接続する URL を表示します。管理者はこの URL をリモートアクセス機能を利用させるユーザーに共有してください。この URL は再度「再発行」ボタンを押下しない限り、変更されません。
ファイル転送最大容量設定	リモートアクセスでアップロード/ダウンロード出来る 1 ファイルの最大容量に制限をかけます。1～50,000MB の範囲で設定できます。無制限にすることは出来ません。
ログイン 3 回失敗で 30 分間のアクセス拒否機能を有効にする	チェックボックスをオンにすることでログイン失敗時のアクセス制限を有効にします。オンになると 3 回ログインに失敗した場合、30 分間ログインができなくなります。

RACA の使い方

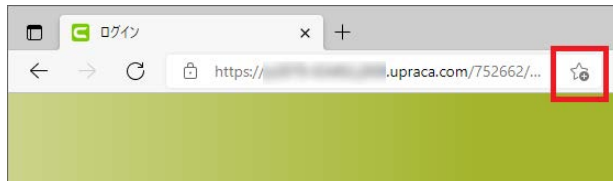
① 接続

管理者にリモートアクセス用 URL を共有してもらい、ブラウザに入力して接続します。

タブレットやスマートフォンでご利用の場合は、QR コードをカメラやアプリで読み取ってアクセスすることもできます。



次回利用時のために、ログインページをお気に入りやブックマークに登録すると便利です。



② ログイン画面

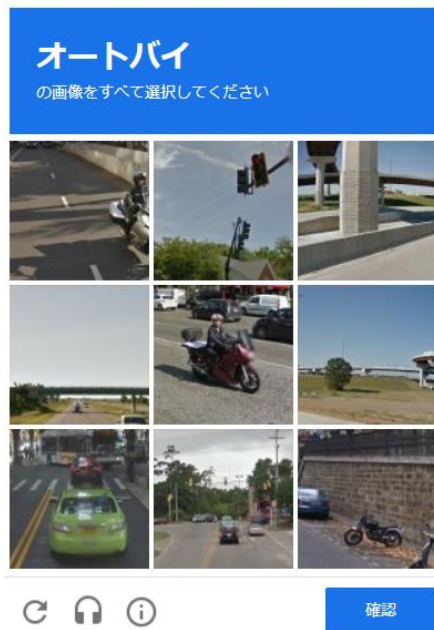
以下のログイン画面が表示されますので、普段自分が使用しているローカルアカウントの ID とパスワードを入力し、「私はロボットではありません」にチェックを入れた上で「ログイン」ボタンを押下します。

A screenshot of a login page with a green border. It features three input fields: the first with a person icon, the second with a lock icon, and the third with a reCAPTCHA logo and the text '私はロボットではありません' (I am not a robot). Below the reCAPTCHA is a checkbox and the text 'reCAPTCHA プライバシー - 利用規約'. At the bottom center is a green 'ログイン' (Login) button.

「私はロボットではありません」にチェックを入れようとすると以下のようなランダムな設問が表示されることがあります。

設問の通りに画像の中から該当するものを選択して確認を押下してください。

よくわからないときはスキップを押下して別の設問にすることも出来ます。



※アクセス拒否機能を有効にしている場合、ID・パスワードの入力を3回間違えると30分ロックがかかりログイン出来なくなります。







※画像選択画面が出る時と、出ないときがあります。これはボット対策として使用している Google reCAPTCHA のアルゴリズムによりランダムで制御されているため不具合ではありません。

③ 初期画面

ログインに成功すると以下のような画面が表示されます。

(お使いの環境、アカウントによって表示されるフォルダーは異なります。)



ボタン説明	
項目	説明
 アカウントボタン	アカウントアイコン。押下するとユーザー、共有リンク管理、ログアウトが表示されます。(共有リンク管理についてはファイル共有の項にて詳しく説明します)
 ホームボタン	ホームボタン。押下するとログイン直後の画面に戻ります。ログイン直後の画面には、パブリックな共有フォルダーとアクセスが可能なプライベートな共有フォルダーのみが表示されます。 ※フォルダーは参照可能である必要があります。
 戻るボタン	一つ上の階層に戻ります。
 リロードボタン	リロードボタン。最新の情報に更新します。
 機能ボタン (フォルダー単位)	フォルダー単位の機能ボタンは[アップロード][フォルダー作成][貼り付け][削除][ダウンロード]があります。使用できないときは文字がグレイアウトして、選択できません。各機能は以下で説明します。
 機能ボタン (ファイル単位)	ファイル単位の機能ボタンは[切り取り][コピー][名前の変更][ファイル共有]があります。使用できないときは文字がグレイアウトして、選択できません。各機能は以下で説明します。

アカウントボタン押下時項目	
項目	説明
ユーザー	現在のログインユーザー名です。
共有リンク管理	このユーザーで作成された共有リンクを管理します。(詳細はファイル共有の項で説明します)
ログアウト	ログアウトします。10分以上操作しない場合、自動的にログアウトされます。





ファイル/フォルダ数が多くて1ページ表示しきれない場合、このボタンでページを移動します。タブに書かれている数字は1ページあたり何アイテム表示するかで、10,20,30,50,100より選ぶことができます。

左のチェックボックスで一つ・または複数選択したものを[削除]することが出来ます。**[ダウンロード]**は一つのファイルに対してのみ有効です。複数ファイル・フォルダにチェックをいれた場合は[ダウンロード]ボタンがグレーアウトして選択することができません。

※チェックボックスと [アップロード][フォルダ作成]は連携しません。



[切り取り][コピー][名前の変更][共有ファイル]のボタンは各ファイルの右にある  を押下することで表示され、これらの操作の対象となるのは  を押し、グレーの色が濃くなったその単一のファイルだけとなります。

※左のチェックボックスとは連動しません。チェックボックスを複数ファイルを選択して、[切り取り][コピー][名前の変更][共有ファイル]を実行することは出来ません。

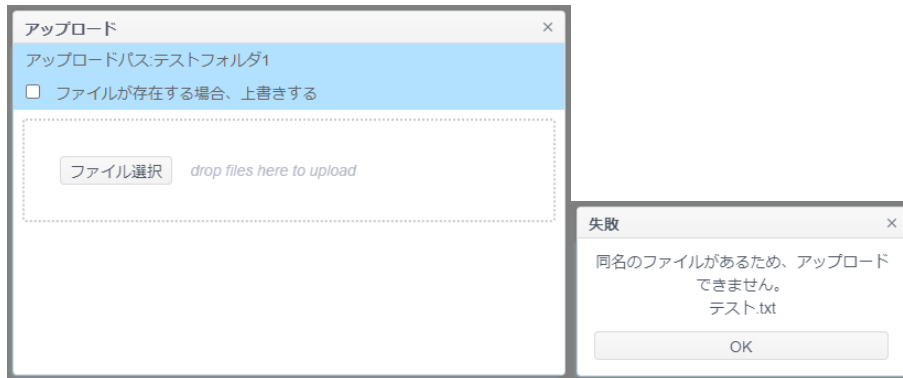
[アップロード]

アップロードしたいファイルをドロップするかファイル選択から選択してアップロードします。

チェックボックスにチェックを入れると同名のファイルがあった場合を上書きします。

※一度に多量のファイルをアップロードすると動作が重くなることがあります。特にサイズの大きいファイルをアップロードする際は、1ファイルずつアップロードすることを推奨いたします。

※チェックを入れずにアップロード先に同名のファイルがある場合、アップロードに失敗します。




[フォルダー作成]

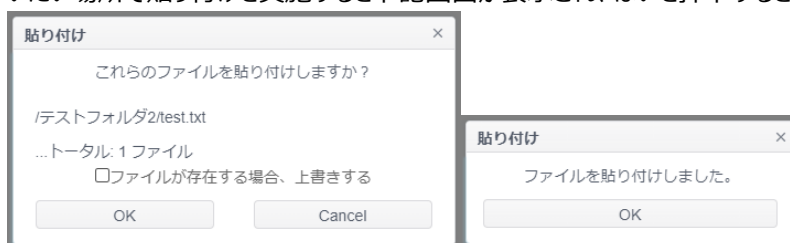
サブフォルダーを作成したい場所で[フォルダー作成]を押下すると以下のウィンドウが表示されます。フォルダー名を入力し、[はい]を押下することでフォルダーを作成することが出来ます。

※ホーム画面に共有フォルダーを作成することは出来ません。共有フォルダーを作成したい場合は BizBoxServer「OS Pro」WebUI の「共有フォルダー」でフォルダーを追加してください。



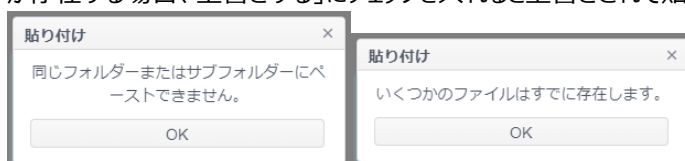
[貼り付け/切り取り/コピー]

移動、またはコピーしたいファイルを1つ選び、そのファイルの右にある  から[切り取り][コピー]を押下。貼り付けを行いたい場所で貼り付けを実施すると下記画面が表示され、はいを押下すると移動、またはコピーが実施されます。



※元ファイルと同じフォルダーに移動、下記のようにエラーが表示され、コピーすることは出来ません。

※既に同名のファイルがある場合、下記のようにエラーが表示され、移動またはコピーすることは出来ません。「ファイルが存在する場合、上書きする」にチェックを入れると上書きされて貼り付けられます。



[削除]

削除を行うにはどのファイルを削除するか、左のチェックボックスを使って選択する必要があります。チェックを付けた複数のファイル、フォルダーをまとめて削除をすることができます。




[ダウンロード]

ダウンロードしたい一つのファイルの左のチェックボックスを使って選択し、[ダウンロード]を押すとダウンロードができます。

※複数ファイルやフォルダーをまとめてダウンロードすることはできません。

[名前の変更]

名前を変更したいファイル/フォルダーを1つ選び、そのファイル/フォルダーの右にある  から[名前の変更]を押下すると、以下のウィンドウが表示されます。変更したい名前を入力し、[はい]を押下することで名前を変更することができます。



[プレビュー機能]

ファイル名を押下すると「詳細」が表示されます。対応する一部の画像フォーマットについては画像のようにプレビューが表示されます。また[ダウンロード]を押下すればここからダウンロードが可能です。

※プレビューに対応している画像のファイルタイプは png, jpg, bmp, gif です。



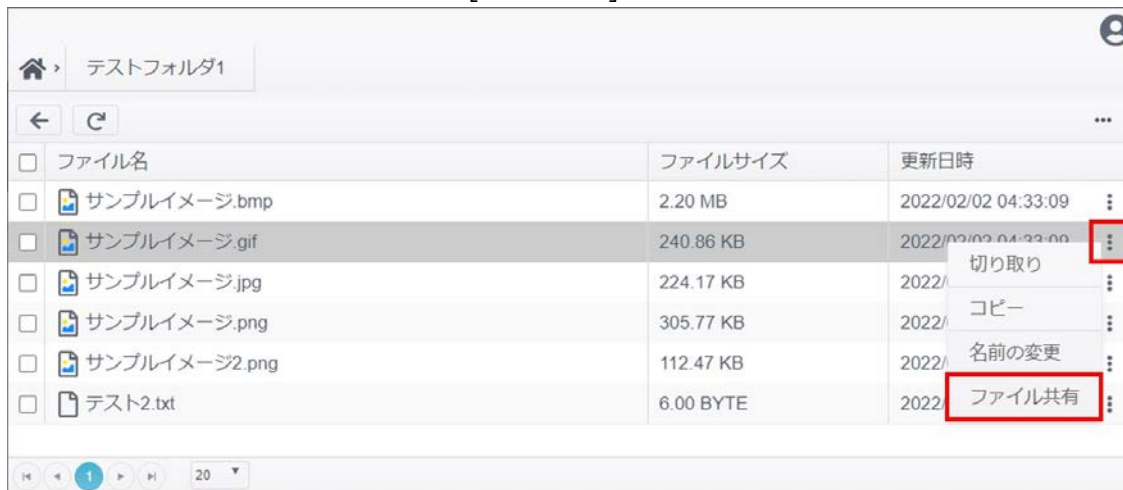
ファイル共有

ファイル共有の機能を使用すると BizBoxServer「OS Pro」内のファイルを外部のユーザーと共有することが出来ます。

～特徴および注意事項～

- 共有することが出来るファイルは共有者がアクセスできるファイルに限られます。
- 共有することが出来るのは 1 回につき、1 ファイルだけです。複数ファイルの共有を一度で行いたい場合は事前にファイルを圧縮するなどして 1 つのファイルにまとめてください。
- パスワードによる保護、ダウンロードの有効期限を設定することが出来ます。
- 共有リンクとそのリンクの QR コードの作成が出来ます。共有リンクを共有したい人に伝えるだけで簡単にファイルの共有ができます。
- 外部のユーザーからファイルをアップロードし、共有することはできません。
- ファイル共有中にリモートアクセス用 URL が変更になった場合は、元の URL は無効となります。

共有を行いたいファイルの右端の  を押下し[共有ファイル]を押下します



必要に応じて「コード保護を取得（パスワード保護をする）する」、「有効期限を設定する」にチェックを入れて有効に設定し、最後に[共有リンクを生成する]を押下します。

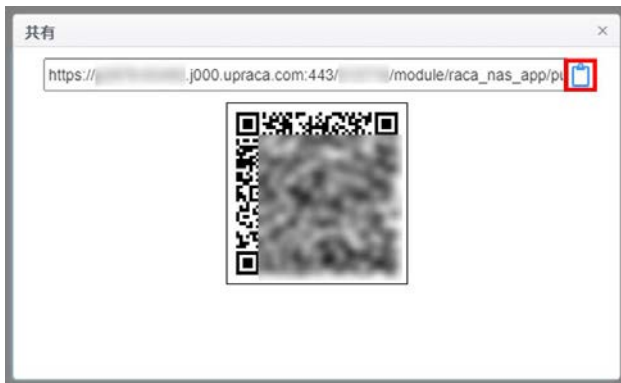


共有 設定項目	
項目	説明
ファイルパス	共有するファイルのファイルパスが表示されます。
コード保護を取得する	チェックボックスで有効にします。パスワードを設定すると、共有リンクの URL がわかってパスワードがわからなければダウンロードできません。少なくとも 4 文字以上で、`\$#&;+` と空白を含んではいけません。
有効期限を設定する。	チェックボックスで有効にします。有効にしない場合、ファイルが存在する限り無期限でダウンロード可能となります。
共有リンクを生成する	上記設定に問題なければ押下して共有リンクを生成します。

共有リンクが表示されます。赤枠のクリップボードマークを押下するとクリップボードに URL がコピーされます。

メールなどにペーストし、共有することが出来ます。


QR コードの画像を押下すると QRCode_ファイル名.png という名前で QR コードの画像をダウンロードすることができます。スマートフォンなどのカメラでコードを読み取ってアクセスすることが出来ます。



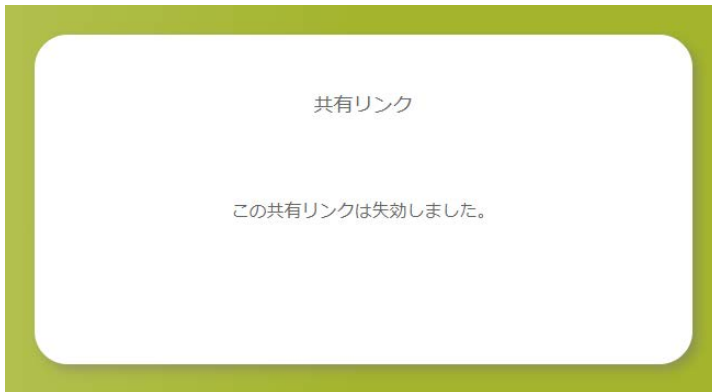
共有リンクにアクセスするとパスワードで保護されている場合以下のような画面が表示されるのでパスワードを入力して Get を押下します。



パスワードを入力して Get を押下した後、またはパスワード保護をしていない場合は直接以下のような画面になります。押下してダウンロードしてください。

ファイル名	
 サンプルイメージ.gif 2022/02/02 04:33:09	

有効期限が過ぎてしまうと下図のようにリンクは失効します。



[共有リンクの管理]

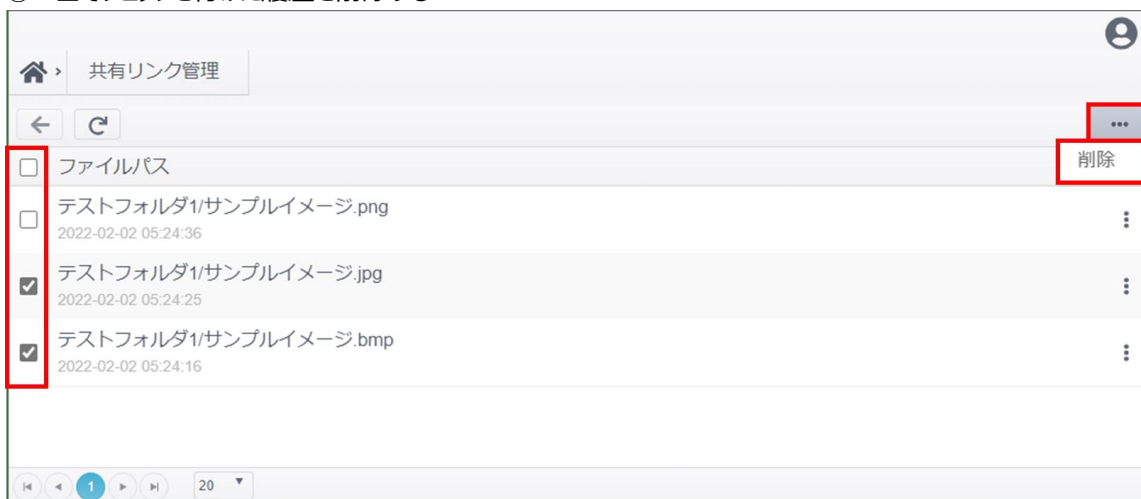
画面右上にあるアカウントボタンを押下し、共有リンク管理を押下します。

ファイル名	ファイルサイズ	更新日時
<input type="checkbox"/> NAS_Public		2022/01/29 09:05:18
<input type="checkbox"/> テストフォルダ1		2022/02/01 06:22:37
<input type="checkbox"/> テストフォルダ2		2022/02/01 06:23:31
<input type="checkbox"/> テストフォルダ3		2022/02/01 06:23:32

✕
 ユーザー: test01
共有リンク管理
 ログアウト

下図のように共有リンクを作成した履歴が表示されます。

① 左でチェックを付けた履歴を削除する



② 各ファイルで編集を行うと既に発行したリンクを編集し、パスワードの追加・変更・削除、有効期限の変更を行うことが出来ます。

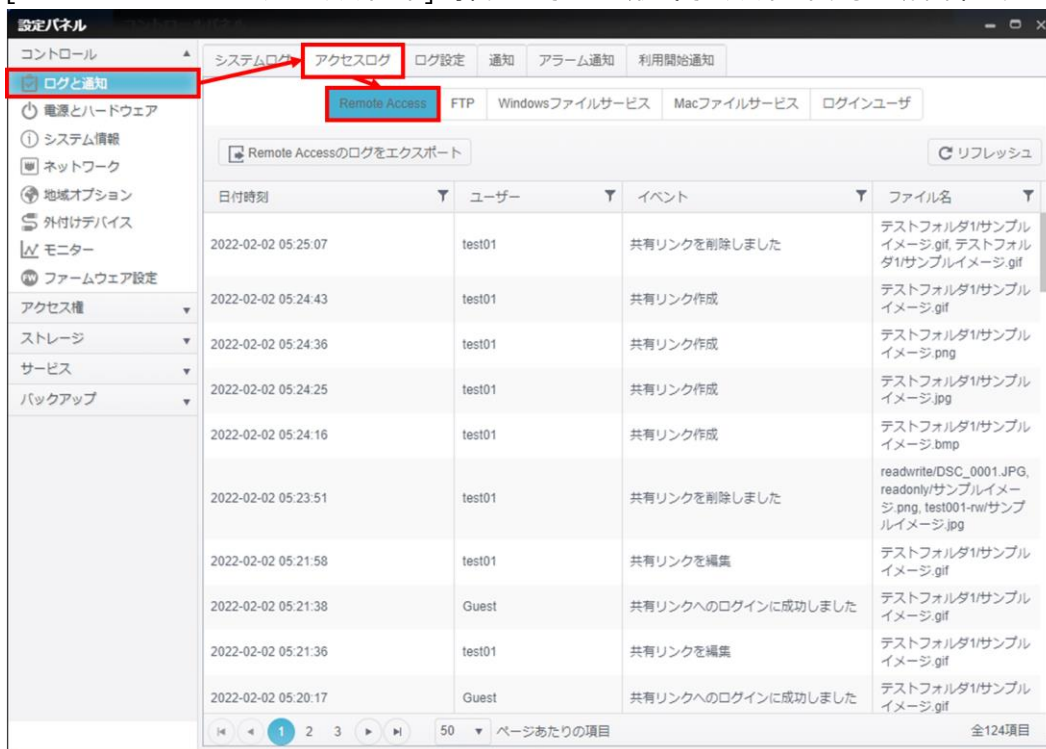


リモートアクセスのログ

RACA はリモートアクセスでのアクセスログを取得、表示できます。[ログと通知]-[アクセスログ]-[Remote Access]でログを確認することが出来ます。ログ項目は以下のとおりです。

- 日付時刻
- ユーザー：ローカルアカウントユーザー名が表示されます。共有リンクへのログインログは Guest となります
- イベント：下表を参照ください
- ファイル名：ファイル、フォルダ操作に関するログの場合、対象ファイル/フォルダ名が表示されます

[Remote Access のログをエクスポート]を押すことで CSV 形式でエクスポートすることが出来ます。



Remote Access Log イベント項目	
項目	説明
ログインに成功しました/Login Success	ユーザーがログインに成功しました。
ログインに失敗しました/Login Fail	ユーザーがパスワードの入力を間違えました。
ログアウト/Logout	ユーザーがログアウトしました。
フォルダー作成/Create folder	ユーザーがフォルダーを作成しました。
名前の変更/Rename File	ユーザーがファイル/フォルダー名を変更しました
削除/Remove File	ユーザーがファイル/フォルダーを削除しました。
アップロード/Upload	ユーザーがファイルをアップロードしました。
ダウンロード/Download	ユーザーがファイルをダウンロードしました。
共有リンク作成/Create Share Link	ユーザーが共有リンクを作成しました。
共有リンクを削除しました/Remove Share Link	ユーザーが共有リンクを削除しました。
共有リンクを編集/Edit Share Link	ユーザーが共有リンクを編集しました。
共有リンクへのログインに成功しました/Login Share Page	ゲストがパスワード保護付き共有リンクにアクセスしました。
共有リンクへのログインに失敗しました/Login Share Page Fail	ゲストがパスワード保護付き共有リンクでパスワードの入力に失敗しました。

※コピーや切り取り、貼り付けなどはアクセスログとしては記録されません。

その他注意事項

～リモートアクセス用 URL の変更について～

- 本機能には本体シリアルナンバーと関連した URL を使用する関係上、本体交換やフェイルオーバーでアクティブマシンが入れ替わった時などはリモートアクセス用 URL が変わります。

～フェイルオーバー機能利用時の注意点～

- システムフェイルオーバーを使用する場合はスタンバイ側のリモートアクセス機能は強制的に無効化されます。もしフェイルオーバーが作動し、このスタンバイが新アクティブに成り上がっても無効化されたままとなります。手動で有効にする必要があります。

～セキュリティ～

- セキュリティ上の観点から、長期的に同じ URL を使いつ続けることは避け、定期的リモートアクセス用 URL を再発行することを推奨します。

～扱えるファイルについて～

- ファイルはどのプラットフォーム(OS)/クライアントにおいてもどのようなファイルタイプでも原則アップロード・ダウンロードすることができますが、アップロード元/ダウンロード先などがプラットフォーム(OS)/設定などによって制限される場合があります。これらはプラットフォーム(OS)側のポリシーによるものであり、またバージョンなどが変わることによって変わる可能性があります。(例えば ios の場合、icloud Drive を有効にしていると通常本体のダウンロードフォルダ以外に icloud Drive が追加されます。)
- ダウンロードしたファイルをオープン、編集できるかどうかはプラットフォームやインストールされているアプリによって異なります。